

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 南飛騨アートプロジェクト開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化創造課 企画係 電話番号：058-272-1111(内3117)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 70,000 千円 (前年度予算額：11,004 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,004	0	0	0	0	0	0	0	11,004
要求額	70,000	35,000	0	0	0	0	0	0	35,000
決定額	70,000	35,000	0	0	0	0	0	0	35,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

近年、アートを切り口として、地域に存在する多様な資源を活用し、地域の潜在的な魅力を引き出すことにより、観光客を呼び込み、県全体の消費拡大や交流人口の増加など、地域の課題解決を図る取組みである「アートプロジェクト」が注目されている。

こうした背景を踏まえ、令和5年度に「アートプロジェクト」の実施を検討するための基礎調査として、県内市町村の地域資源の調査を実施したところ。

令和6年度は、「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の会期中に、アフター・コロナ時代における清流文化を創造・発信するため、前年度の基礎調査の結果を踏まえて「アートプロジェクト」のモデル事業を実施する。

(2) 事業内容

<開催概要（案）>

- ・時期：令和6年10月～11月頃
- ・拠点：南飛騨健康増進センター及び周辺施設一体
- ・内容：
 - ①『地域発掘・歴史巡遊プロジェクト』
 - ・古文書や地域で語り継がれている伝承を基に、遊歩道等の誘導サインをアーティストが制作
 - ・地域に伝わる歴史を紐解きながら、言葉と絵で辿る周遊コースづくりを実施
 - ②『「岐阜県人の物語」物語るテーブルランナー in 岐阜』
 - ・日々の暮らしの中にある地域ならではの習俗や出来事を題材に、アーティストが下絵を描き、語り手（地域住民）がテーブルランナーを作成
 - ・作成したテーブルランナーは、ストーリー仕立てで展示
 - ③『アートを起点とした《アート×自然》学びのプログラム』
 - ・当地域の地塾けもとり歴中・文化等を踏まえたパブリックアートを設置

- 南飛驒エリアが誇る豊かな自然を体感しつつ、第一線で活躍する専門家により「岐阜」という地を知るセミナーやワークショップを開催

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県が中心となって実行委員会を運営する文化振興の主要プロジェクトであるため、県が最も多い負担割合とする。

【実行委員会予算(案)】

岐阜県 70,000千円：下呂市 30,000千円

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	70,000	南飛騨アートプロジェクト実行委員会負担金
合計	70,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
 - ① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承・発信

(2) 国・他県の状況

- 新潟県 : 「大地の芸術祭」
- 香川県、岡山県 : 「瀬戸内国際芸術祭」
- 石川県 : 「奥能登国際芸術祭」

(3) 後年度の財政負担

- ・ 単年度事業を想定
- ・ モデル事業の結果を踏まえ、将来的な「アートプロジェクト」の開催について方向性を検討

(4) 事業主体及びその妥当性

負担金を受けて「南飛騨アートプロジェクト実行委員会」が事業を実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年度の「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の会期中にアートによる地域活性化モデル事業を開催する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

新規事業であるうえ、単年度事業であることから指標を設定に馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	<p>・R4.10.11に「アート」による地域活性化の可能性について理解を深め、新たな取組みへの契機とするため、市町村長等を交え、有識者によるフォーラムを開催。</p> <p>・県内でアートを活かした地域活性化のモデル事業（アートプロジェクト）の実施を検討するための基礎調査を先行実施（～R5.10月まで）</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	<p>令和7年度当初予算にて追加</p>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	国(文化庁)の文化芸術推進基本計画(第二期)の重点取組として、文化の振興・観光の振興・地域の活性化の好循環の創出を図ることとされている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和6年度のモデル事業の結果を踏まえ、将来的な「アートプロジェクト」の開催について方向性を検討することが必要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】